

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 岐阜県立加茂農林高等学校 学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和5年11月7日(火) 13:30~15:30

3 開催場所 加茂農林高等学校 会議室

4 参加者	会長	山田 和浩	岐阜県農業大学校長
	副会長	桂川 公幸	岐阜県指導農業士
	委員	日比野安平	地域住民
		渡辺 祥二	農業法人代表
		酒向 光世	医療法人管理職
		武田 由美	美濃加茂市教育委員
		井戸 肇	同窓会長
		佐藤 鮎美	P T A会長

学校側	大塚 浩昭	校長
	佐藤 知子	事務部長
	金本 淳	教頭
	斉藤 寧子	教務主任
	村井 陽一	生徒指導主事(欠席)
	森本 達雄	進路指導主事
	佐藤 一喜	農場長

5 会議の概要(協議事項)

・学校長挨拶

(1) 本校の教育活動について

- ・食品科学科生徒による学習成果の発表
- ・生徒・保護者等対象「学校評価アンケート」結果
- ・3年生進路状況
- ・学校預り金等会計の状況

意見1: 農業高校での学びの特徴を生かし、専門科目の学習内容と普通教科の学習の連携を図ることも重要である。

意見2: 第1回協議会において卒業生による進路ガイダンスの実施を検討するということであったが、どうなっているか。

⇒令和6年度4月に計画している。本校卒業後2・3年目の卒業生を講師として招聘予定である。

意見3: 他校では3年生の面接指導に企業の協力を得ている例もあるが、本校では面接指導

に外部の協力を得ることは考えていないのか。

⇒本校生徒の状況から、本校職員による継続した丁寧な指導が必要であると考えており、今のところ外部の協力を得ることは考えていない。

意見4：卒業アルバムの業者選定はどのように行っているのか。

⇒前年度内に次年度入学生のアルバム業者について契約審査会を開き決定する。

意見5：学校においても様々な行事が再開されているが、PTA活動を通して3年間のブランクは大きいと感じている。行事は生徒の生き生きとした姿を見ることができる機会であり、保護者も楽しみにしているが、行事の実施に当たっては生徒の状況に合わせ、その時々可能な取組を行うことが大切である。

意見6：食品科学科の学習成果の発表は素晴らしいものであった。農業高校での学びの専門性がよくわかった。

意見7：国際交流で来日した生徒の受入に感謝する。あたたかくフレンドリーな生徒の対応や専門教育の一端に触れ刺激を受けていた。多様化する社会、グローバル社会に目を向ける機会を積極的に利用してほしい。

意見8：農業高校での学びについて外部の方は知らない。もっと農業高校での学びや地域連携の取組、ワラビーがいることや皆勤の生徒が多いことなど本校の特徴を対外的にアピールすべき。

意見9：自転車通学者のヘルメット着用について、どのようにアプローチしていくか難しい面もあるが、着用により命を守ることができることは間違いなし。ヘルメットのデザインや髪型を気にする高校生には機能面で改善が進むことで今後、着用率は向上すると考える。

6 会議のまとめ

- ・本校の取組について励ましの言葉や前向きな意見が得られた。
- ・第1回学校運営協議会において校内見学の時間を設定し、本校の学習環境や、生徒が授業・実習等に取り組む様子を見たことを踏まえ、第2回学校運営協議会においては生徒の学習成果の発表を見た上で協議することができた。
- ・委員や保護者だけでなく、多くの方々に本校で学ぶ生徒の姿を見ることができる機会を設定し、本校の教育活動について理解を深めてもらう必要がある。
- ・1月に予定している次回の学校運営協議会では、本年度の学校の取組と次年度に向けた学校運営方針について、委員からの助言や提言を受け、学校運営のあり方を模索しつつ、修正していく。
- ・本協議会は、引き続き学校が抱える課題を地域と共有し、委員の視点から助言を得る場としたい。